

~ 商 品 内 容 ~



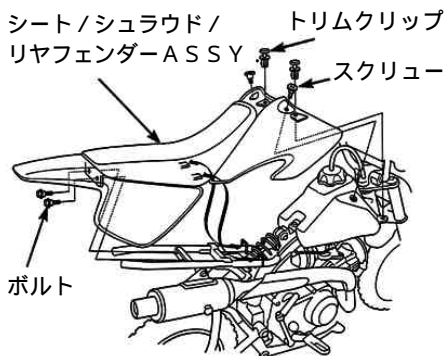
番号	部 品 名	個数
1	キャブレターASSY.	1
2	インレットパイプ	1
3	インレットパイプガスケット	1
4	キャブレターガスケット	1
5	ソケットキャップスクリュー 6×20	2
6	ソケットキャップスクリュー 6×25	2
7	タンクスペーサー	2
8	フランジボルト 8×25	1
9	フランジボルト 8×30	1
10	カラー	1
11	ワッシャ	1
12	メインジェット #85	1
13	スロットルケーブル 710mm	1

~ 取 り 付 け 要 領 ~

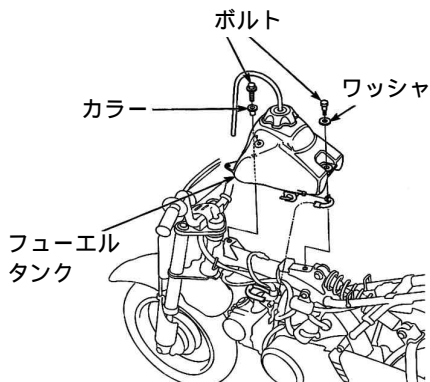
水平で安全な場所で車両を安定させる。
 フューエルコックを閉じ、キャブレターのドレンコックを開いてフロート室内からガソリンを抜き取る。

1. 外装を外す

トリムクリップ2個、スクリュー2本、ボルト2本を取り外し、シート/シュラウド/リアフェンダーASSY.を取り外す。

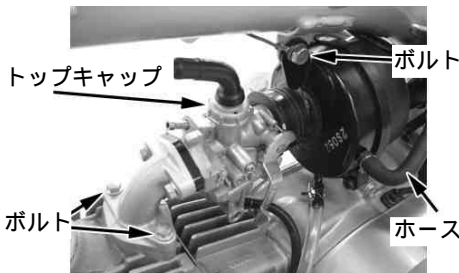


キャブレターからフューエルホースを外し、ボルト2本を取り外してフューエルタンクを取り外す。

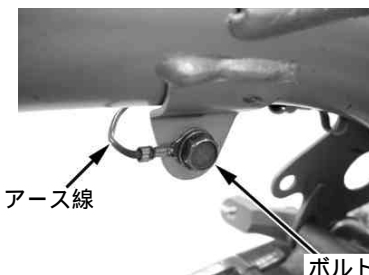


2. キャブレターを外す

キャブレターから、トップキャップ、ストレージタンクのホース、エアクリーナーステーのボルト、マニホールドのボルト2本を取り外し、マニホールド/キャブレター/エアクリーナーを取り外す。



アース線をエアクリーナーステー部のボルトでフレームに取り付ける。



3. スロットルケーブルを外す

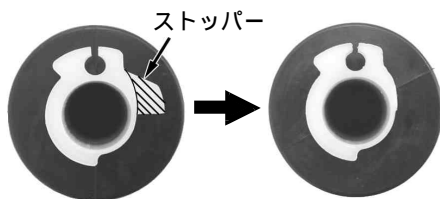
スロットルケーブルの六角ナットをゆるめる。スクリュー2本を取り外し、スロットルハウジング、スロットルパイプをハンドルから取り外す。



ロアスロットルハウジングからノーマルのスロットルケーブルを取り外す。

4. スロットルケーブルを付ける

スロットルパイプのストッパー部を加工し、取り除く。



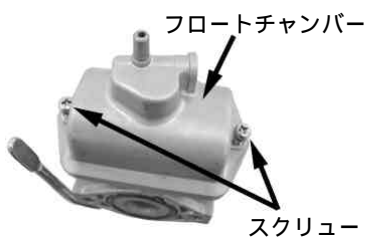
キット内のスロットルケーブルをロアスロットルハウジングに取り付ける。

加工したスロットルパイプにインナーケーブルを接続し、スロットルハウジングをハンドルにスクリュー2本で取り付ける。

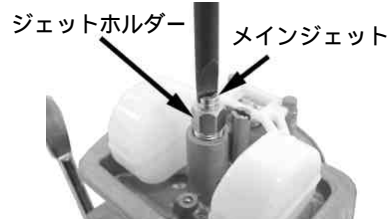
スロットルケーブルの六角ナットを締め付ける。

5. キャブレターを付ける

2本のスクリューを外してフロートチャンバーを取り外す。



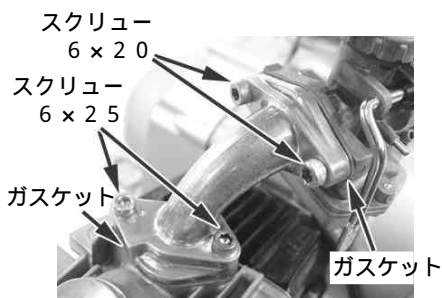
メインジェットをジェットホルダーから取り外し、キットのメインジェットを取り付ける。



フロートチャンバーを取り付け、2本のスクリューでキャブレターに取り付ける。

シリンダーヘッドとインレットパイプの間にガスケットをはさみ、ソケットキャップスクリューで締め付ける。キャブレターとインレットパイプの間にガスケットをはさみ、ソケットキャップスクリューで締め付ける。

規定トルク = 1.0 N・m (1.0 kgf・m)



キャブレターのトップキャップを外し、スプリング、スロットルバルブを抜き取り、スロットルケーブルに取り付ける。



スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付ける。くぼみにトップカバーの凸を合わせ、取り付ける。

スロットルを数回スナップさせ、スロットルバルブの開閉状態を確認する。



スロットルグリップ部で5mm程度遊びがあるようにスロットルケーブルのアジャスターを調整する。

別売りのエアフィルターを取り付ける。

適合エアフィルター

: ペーパーフィルターブローバイガス還元対応
03 01 110

: スポンジフィルターブローバイガス還元対応
03 01 1103

クランクケースからのブローバイガスの処理は各自で行う。

(例: ストレージタンクをエアフィルターが干渉しないように取り付け、エアフィルターにブリーザーホースを接続し、ブローバイガスを還元する。)

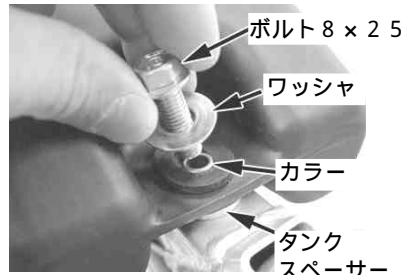
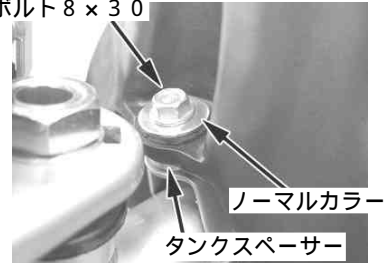


6. 外装を付ける

フューエルタンクの前方にフレームとの間にタンクスペーサーを入れ、ボルトを取り付ける。後方にフレームとの間にタンクスペーサーを入れ、カラーとキット内のワッシャを入れてボルトを取り付ける。

規定トルク = 2.6 N・m (2.7 kgf・m)

ボルト 8 x 3.0



シート裏の爪をフレームのフックに差し込み、シート/シュラウド/リアフェンダーASSYをトリムクリップ2個、スクリュー2本、ボルト2本で取り付ける。

シュラウドを引っ張りながら取り付け穴をフューエルタンクのネジ穴に合わせてスクリュー2本を取り付ける。

取り付けにくい場合は、ヤスリ等で長穴加工をして下さい。



株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357
FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>

キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
<ul style="list-style-type: none"> ・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

ジェットニードル (スロットル開度 1 / 4 3 / 4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がりが高く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、Eリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Eリング位置が1段目から5段目へ下がるにつれ混合気は濃くなります。



メインジェット (スロットル開度 3 / 4 4 / 4)

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。仕様等を考慮の上、最高回転数(最高速度)の得られる物を選んで下さい。

パイロットジェット (調整前にまずエアスクリューを調整して下さい。)

- ・エアスクリューの戻し量 3 .0 回転以上の場合、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリューが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
- ・パイロットジェットはアイドルリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリューの再調整が必要です。

エアスクリュー

エアスクリューはスロー系の空気流量を調整します。(アイドルリング時)

- ・エアスクリューを右に回す 混合気が濃くなる。
- ・エアスクリューを左に回す 混合気が薄くなる。

標準戻し回転数(1.5回転)に合わせ、左右に1/4 1/2回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。アイドルストップスクリューで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリューで最も回転数が高くなる位置に調整します。

気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 **SPECIAL PARTS 武川** 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル 0721 25 8857